

奈良革新懇

平和・民主・革新の日本をめざす奈良の会（奈良革新懇）
〒630-8213 奈良市登大路5-5 奈良県教育会館内

【携帯】080-4243-6370 【E-mail】tukasa55122000@yahoo.co.jp

全国革新懇ニュース473号（奈良版）
《発行》平和・民主・革新をめざす全国の会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-8
千駄ヶ谷尾澤ビル
2025年10月号
9.27 総会特集

224号



9/27 奈良革新懇2025年総会「報告と提案」(要旨)

革新懇の3つの共同目標を掲げ、自民党政治を終わらせよう

革新懇の3つの共同目標

- 1 日本を経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- 2 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- 3 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

共同の輪を

より太く、大きくしてこう

衆院でも、参院でも自公が少数与党に転落しました。しかし、自民党政治に代わる新しい政治についての選択には至っていません。7月の参院選では、戦争推進の極右勢力が台頭しました。こうした歴史的岐路のもとで私たちは奈良革新懇総会を開催しました。

自民党政治を延命させる新たな連立や解散・総選挙の可能性も含め、政局が極めて流動化しています。

国民の暮らしの危機は深刻さを増しています。平和も社会保障も、教育も。こうした危機の打開には、国民の側の共同の輪をより太く、大きなものにしていくことが必要です。市民と野党の共同の新しい発展が求められています。

革新懇の「3つの共同目標」が新しい政治の方向性を示す

自公はもちろん、他の野党も国民の苦難を解決する方向性を示すことができない中で、革新懇の「3つの共同目標」は自民党政治に代わる新しい政治の確かな方向性を示しています。今、革新懇の「3つの共同目標」が注目される情勢です。

日米安保条約の危険性を

わかりやすく、広く知らせよう

特に共同目標の三つ目にある「日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざす取り組みの強化は」今“の、切実な課題です。

自民党政治の「歪み」と行き詰まりのおおもとに、日米安保条約があり、その危険性を市民にわかりやすく、広く、深く知らせ、軍事同盟からの離脱を政治の課題に押し上げていくことが暮らしや社会保障の危機を打開するために不可欠です。革新懇の役割発揮が求められています。

「戦争する国づくり」は

足元の「わがごと」の問題

「安保3文書」は私たちの「足元」で具体化が進行しています。

たたかいは広がっている祝園ミサイル配備弾薬庫拡張問題や当事者である奈良市在住の若者本人が原告として提訴してたたかっている自衛隊名簿提供訴訟（RYU裁判）が示しています。

この2つのたたかいは、今日の「戦争する国づくり」をめぐる情勢を「わがごと」として理解し、市民に訴え、知らせるうえでも重要です。奈良革新懇は、この2つのたたかいを全力で支援します。

また、核兵器禁止条約批准を求める運動は核保有国や日本政府が固執する核抑止力論を乗り越え、大軍拡路線を止める力です。加えて、最低賃金1500円の実現、社会保障の拡充、ジェンダー平等社会の構築を革新懇の重要課題としてあらためて今回の奈良革新懇総会で提起します。（2面へ続く）



奈良革新懇2025年総会を開催



開会挨拶で、井ノ尾寛利代表世話人が平和、命、人権を脅かす排外主義の危険が広がるもとで、地域革新懇の共同を広げることが大切だと述べました。

「戦争か平和か」「暮らし破壊」の情勢を共有し、

奈良革新懇のはたすべき役割を確認した総会でした

奈良の革新懇運動の方針

「さよなら自民党政治」の大運動を推進しよう

大運動の具体化の柱は二つ。一つは、今日の政治情勢をどうみるか、行き詰まった自民党政治に代わる新しい政治を実現するための展望の共有を深く広くはかる奈良革新懇主催の連続学習会を、五十嵐仁講

演、浜矩子講演に続いて開催し、成功させることです。

もう一つの柱は、市民と野党の共闘の力で「さよなら自民党政治」を広く県民に呼びかける街頭宣伝です。奈良革新懇の賛同団体と地域革新懇の共同街頭宣伝を、これまで3回の経験

を踏まえて実施します。革新懇の「3つの共同目標」を掲げ、自民党政治に代わる新しい政治の実現を広く県民に向かって呼びかけようではありませんか。

奈良県における国政選挙の共通政策づくりへの参加

さまざまな困難に直面しながらも、市民と野党の共闘をめぐすことに揺るぎはありません。国政選挙に臨む奈良革新懇の基本方針をあらためて確認します。それらを踏まえた上で、「安保法制廃止」と「立憲主義の回復」という原

点に基づき、奈良革新懇は県内の立憲野党に「革新懇の3つの共同目標」を示し、奈良県における国政選挙（奈良選挙区）の共通政策づくりの協議にも積極的に参加していくことを新たに提案します。

統一戦線運動の前進・発展に向けて

原発ゼロ・被災者支援奈良のつどいや「治安維持法」施行百年記念の取り組みなど平和と民主主義の前進めざす幅広い県民による共闘の支援を中心に、奈良県憲法共同センターに結集して、改憲阻止に向けた幅広い共同強化を呼びかけます。今年の「3・9原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい」のチラシに掲載された呼びかけ人・協賛団体の総数は60で、10年ほど前だったら名前を連ねることはなかったであろう団体や個人が

いっしょに協賛しています。

こうした一点共闘による共同の取り組みの積み重ねは、奈良県における平和と人権、民主主義を守り発展させる運動の財産です。さらに「総がかり行動」的な運動づくりは奈良県における統一戦線運動の展望に関わって重要な課題であること確認したいと思います。

組織強化と革新懇づくりの課題の共有化と団結を

壮大ともいえる奈良の革新懇運動を実践する革新懇づくりが、今困難に直面しています。革新懇運動を担ってこられた方々の高齢化やコロナ禍後の活動の停滞があります。組織強化と革新懇づくりの5つの課題と方針を提示しましたが、奈良革新懇のみなさんの組織づくりにむけた団結、そして共に足を踏み出すことを心から訴えます。

多彩な分野から14人が発言

*園部勝章さんが教育の分野からの発言を準備されていましたが、討論時間がなくなり、園部さんの発言を保障できませんでした。

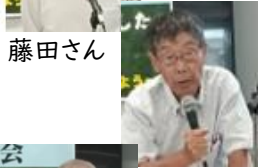


藤田さん

藤田 陽人さん

(日本民主青年同盟奈良県委員長)

「原水爆禁止世界大会 2025 に参加して」
●核戦争が実際に起こるかもしれない、身近に起こるかもしれないということ、「自分ごと」として、感情に乗せて訴え、広げていくことの大切さを学びました。



加藤さん

加藤 勇さん

(全日本年金者組合奈良県本部書記長)

「年金削減に反対する闘いをどうするか」
●今高齢者を取り巻く生活が非常に厳しいものがあります。年金積立金が年金に給付されず、株やイスラエルの軍事会社に投資されていることに怒り!! 年金署名で反撃していきます。



浅野さん

浅野 正光さん

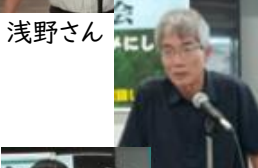
(奈労連一般労組/平城西地域の住民)

「革新懇運動のさらなる発展と外国人差別の件に関連して」 ●国民的な共同の闘いの発展が今見える形で求められています。奈良市にもたくさん外国人がおられ、共に地域づくりを進めてきた実践を知ってほしいです。

西村 徹さん

(奈良県教職員組合書記長)

「教育をめぐる状況と教育全国署名について」 ●教師が生きがい、働きがいを失う中、教師のなり手が減っています。国は教師を抜本的に増やすという方針を持っていません。経産省が目論む教育のデジタル化の危険性を知ってほしいと学習会を開催します。



西村さん

吉兼 未来さん

(奈良民医連事務局長)

「医療・介護を守る緊急行動提起」 ●物価、人件費が上がり、しっかりとした医療をすると赤字になるという異常な事態となっています。社会保障4兆円削減、11万病床減らす政策は、命の減反政策です。ミサイルより医療、ケアを!!

中村 篤子さん

(新日本婦人の会奈良県本部会長)

「自民党政治に代わる新しい政治の実現めざして」 ●選択制夫婦別姓実現に向けた地元国会議員要請をはじめ直接議員に声を届ける取り組みも大事にしています。宣伝等でもぜひ賛同団体のみなさんの力をお貸しください。



吉兼さん



中村さん

池田 英子さん

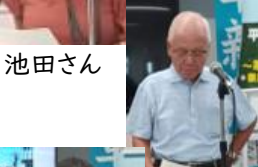
(日本共産党奈良県委員会)

「差別と分断に反対する国民的共同をつくるために」 ●高の原駅で日本共産党の街頭宣伝に対する妨害行為を目の当たりにしました。私たちは、こうした差別と分断を許さないための懇談会を10月11日に開催します。

金治 貞男さん

(西の京かいわい革新懇)

「極右・排外主義とのたたかいについて」
●参政党のピラが私の町内で配られました。こうした勢力の台頭を許さないために革新懇の役割を発揮することが求められています。学習会の開催など行動を起こすことを提案します。



池田さん



金治さん

河戸 憲次郎さん

(奈良県平和委員会理事長)

「自衛隊名簿提供違憲訴訟(RYU裁判)と奈良県平和大会について」 ●この裁判は、若者を戦場に送らない闘いであるとともに地方自治を守る闘いです。ご一緒に日本平和大会のプレ企画の奈良県平和大会の成功を。

村木 敬さん

(天理市平和委員会/天理市会議員)

「平和の問題についての天理での活動」
●結成21年になる天理教平和の会は毎月の例会、商店街でのチラシ配布、署名活動、公開講座などに取り組み、RYU裁判の学習会なども新婦人天理支部との共同で成功しました。



河戸さん



村木さん

桧垣 泰弘さん

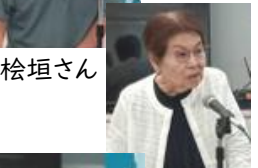
(奈良市革新懇事務局長)

「市民と共同した取り組みについて」 ●奈良市では、地域水道一体化問題で市長に不参加を表明させました。市民運動と労働組合運動が一体となって取り組めば、市議会を動かすことができるという貴重な経験があります。

西 ふみ子さん

(奈良県生活と健康を守る会連合会)

「戦争を語り継ぐことの大事さ」
●日本は中国や朝鮮の植民地支配をしてきました。今起きている排外主義も、いつか来た道です。私は90歳。戦争を知っている世代がわずかになる中、戦争体験を語り継いでいきます。



桧垣さん



西さん

山村 幸徳さん

(奈良県議会議員)

「山下維新県政と奈良県議会の現状」 ●6月の県議会で自民党が分裂して維新と共同した知事与党の議長が誕生し、知事の思い通りに進む状況に。貯め込んだ多額の基金を県民のために使うために県政刷新を何としても!!

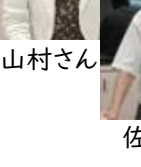
佐藤 真理さん

(自由法曹団/RYU裁判原告弁護団長)

「革新懇の発展に何が必要か/奈良における裁判闘争の勝利を」 ●立憲野党の共闘をめざす革新懇に、政党として参加しているのが日本共産党のみという状況を変えていくことが必要ではないでしょうか。



山村さん



佐藤さん

アベ政治の継承者を自認する高市氏が 自民党新総裁に選出された 10月4日



▲自民党総裁選の投開票の数時間前にJR奈良駅前で国民救援会奈良県本部が名張毒ぶどう酒事件のアピール行動を行いました。小雨が降るあいにくの天候でしたが、「奥西勝さんに再審無罪を!」の訴えや冤罪事件に取り組む若手弁護士のライブ、奈良のうたごえ協議会のみなさんによるうたごえなど多彩な企画で市民や観光客に元気にアピールしました。



▲近鉄大和西大寺駅で配布された高市新総裁の誕生を報じた「読売」号外



▲総裁選の投開票と同時刻に開催された20人以下学級を求める奈良県民ネットの学習会に70人が参加。田中康寛氏(大教組元委員長)の「世界に広がるデジタル教育の見直し」と題する講演は「目から鱗」と大好評。欧米や韓国などでは「デジタル教育」の弊害に真摯に向き合い、方針転換が行われているのに日本は全く逆方向。個人情報や財界に提供される危険性も告発。力合わせて教育全国署名を推進しましょう!!



▲奈良県女性センターで、こちらも総裁選投開票と同時刻に奈良1区市民連合の第6回総会が開催されました。参院選に向けた政党懇談会、各政党の政策学習会、政策協定への合意要請、キックオフ集会、毎月のタウントークや隔月のニュース発行、6地域交流会など多彩な取り組みが報告、交流されました。総会には県内の立憲野党や2区・中南和・県市民連合の代表が来賓として出席・あいさつするなど、奈良県における市民と野党の共闘の積み上げが示された総会でした。

最悪の高市自民党に、地元奈良から 平和・暮らし・人権・教育を進めよう NOを!!

10月4日の午後、自民党総裁選の投開票が行われ、衆院議員の高市早苗氏(奈良2区)が選出されました。近鉄大和西大寺駅前などで新聞号外が配布された映像とともに、歓喜に沸き立つ地元天理市の高市後援会の様子が見られました。同じ10月4日、奈良で3つの取り組みが行われました。平和・暮らし・人権・教育を守る市民の手による取り組みです。高市自民党に対抗する、一番確かで強力な力がここにあります。反動攻勢に対して、高市氏の地元奈良から共同の輪を広げ、反撃を!

- 今回、総会に初めて参加しましたが、奈良県で行われている様々な活動について知ることができてよかったです。一人ひとりの頑張りがあり、今の日本社会への思いがあり、それらを聞き、学び、考えることで、自分の活動へ活用し、より良い活動ができるようにしていこうと思います。
- 討論では、排外主義への批判的見解が多くあったと思いました。これからどのように対抗・対応していくかが課題。排外主義に対する学習運動が必要だと思いました。
- 奈良革新懇の役割がこれまで以上にわかったかなと思います。「一致点に基づく共同闘争の発展」を強力に押し進める提唱を望みますし、これをどう具体化していくかが課題です。

奈良革新懇 2025年総会の感想文から

- 自民党政治のせいで、医療・介護・教育・社会インフラがダメになっている。危機だ。自分もいろいろな提案ができた方がいいなあと思いました。
- 活動の輪が広がったケース、広がらなかったケース党、リアルな運動拡大のあり方についての討論を希望したいと思います。
- 連合系、非共産系の団体や市民との連帯・共同の「課題」と「展望」を深めていきましょう。
- 吉兼さんの「外国人の鹿の暴力を問題にするくらいなら、米軍兵の沖縄女性への暴力を問題にすべきだ」の発言は痛快だった!
- 桧垣さんの報告が良かった。県域水道のたたかいのように、やっぱり地道な活動が地域を変える力になると思う。

◆編集後記◆

◆総会が終わってホッとすると間もなく、映画「荒野に希望の灯をともす」の上映実行委員会の準備と「奈良革新懇ニュース」10月号の編集作業に追われました。◆自民党の高市早苗新総裁が、所属議員向けのあいさつで「全員に馬車馬のように働いてもらう。私自身もワークライフバランスという言葉は捨てる」と発言。オイオイ、悪政推進のために馬車馬のように働かれたら迷惑だよ、と言いたい!!